

編集後記

11月中は暖かったが、12月に入り、急にすこぶる寒くなった。この新年号が出るころまでに、特別展「イメージの力」は閉幕し、展示物は燻蒸されたうえで、もとの保管場所に戻ってゆく。章ごとにさまざまな切り口で、地域横断的にモノを展示するという企画はこれまでにみんぱくではあまりなく、こういう展示をもっとやってくださいという来館者のお声を多くいただいた。実行委員として関わったイベントの際の質疑応答でも「人の死、モノの死」や「時間」などについて、お客さんと一緒に、哲学的なところまで踏み込んで考える機会が何度かあった。人間がモノに込める願いや思いの本質に迫ることができたのかもしれない、という感触が得られた。

そしてみんぱく創設40周年も無事終わり、新たな年が明ける。馬の年はなんだか突っ走って、忙しかった気がする。羊の年はもう少しゆとりができるだろうか。糸を紡ぐように、地道に進みたい。

(山中由里子)

みんぱくをもっと楽しみたい 人のために—会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます(特別展示は観覧料割引)。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいあります。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893/平日9:00~17:00)

●表紙: 男性用帽子

地域: トルクメニスタン 標本番号 H0168476 (白)、H0168477 (黒)

次号の予告

特集

地球人が宇宙人になるとき

※みんぱくウィークエンド・サロンの情報は、13ページに移りました。

月刊みんぱく 2015年1月号

第39巻第1号通巻第448号 2015年1月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 **国立民族学博物館**

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信

編集委員 山中由里子(編集長) 櫻永真佐夫 河合洋尚
庄司博史 菅瀬晶子 丹羽典生 丸川雄三

編集アドバイザー 山内直樹

デザイン 宮谷一孝 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人千里文化財団

印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>

